

## アンケート調査（R2.6実施）結果の分析

## ◆市民アンケートの集計結果

問4 環境問題（全般）に対する関心度・重要度 P8

## 【考察】

- ・重要度が高く、かつ、関心度が高い問題 = 市民が取り組みを求める重点課題

重要度が高く、かつ、関心度が高い問題

- ・地下水の水質汚濁、地下水位の低下
- ・ごみ問題
- ・地球環境問題

問5 地球規模の環境問題への関心度 P11

## 【考察】

- ・地球環境問題の中でも「地球温暖化」「海洋汚染」の関心度が高い  
⇒異常気象やごみ問題等、身の回りの環境問題と結びつけた取組を推進する
- ・39歳以下の関心度が他の年齢に比べ低い  
⇒若年層に対する働きかけが必要

問6 居住地区の環境に対する満足度・重要度 P13

## 【考察】

- ・満足度が低い、重要度が高い環境要素 = 改善してほしい環境  
⇒重点的に取り組むべき施策
- ・重要度が低い、満足度が高い環境要素 = 守られていて当然の環境  
⇒基準等は達成している。安全・安心をより確実にするための取組（関係機関との連携強化、連絡体制強化等）が求められる。

満足度が低い、重要度が高い環境要素

- ・川のきれいさ（河川・用水路）
- ・市民のマナーの良さ（ポイ捨て・ごみ分別など）

重要度が低い、満足度が高い環境要素

- ・まちの静かさ
- ・暮らしの安全性

## 【考察】

- ・ 第二期計画に定める市民の行動指針の取組状況を確認した。

⇒別紙「第二期計画における市民及び事業所行動指針の取組評価」のとおり

- ・ 節水や節電、エコドライブの実践といった市民一人ひとりの「こころがけ」のできることの取組状況は80～90%となっており、市民の意識向上が伺える。

- ・ 取組状況が80%未満の取組で主なもの（取り組まない理由別）

## 費用がかかるから

- ・ 下水道への接続、合併浄化槽の設置
  - ・ ハイブリッドカーなどの低公害車の使用
  - ・ 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入
  - ・ 高断熱化設備や省エネ設備等の設置
- ⇒取組効果の啓発や国等が実施する助成制度の広報の実施

## 生活の便利さ・快適さがなくなるから

- ・ 地下水の消雪利用
  - ・ 自転車や公共交通機関等の利用
- ⇒取組効果の啓発や取り組みを促す仕組みの導入の実施

## 取り組む機会がないから・該当しないから

- ・ 用水路等の清掃活動への参加
  - ・ 資源回収活動などへの参加
  - ・ 湧水地や河川環境に触れ合うイベントや保全活動への参加
  - ・ 大野の自然とのふれあい
- ⇒SNS等による広報の充実や取組機会の創出

## 特に理由はない・気にかけていないから 又は 手間や時間がかかるから

- ・ 雑がみの分別回収
  - ・ 不用品の知人等への譲渡
  - ・ 夜空を見上げる
  - ・ 環境に関する取り組みの情報収集
- ⇒取組効果の啓発や SNS 等による広報の充実

## 【考察】

- ・上位回答の施策 = 市民が求める第三期計画で取り組むべき具体的な施策

## 上位回答

(全ての世代)

- ①設備導入に対する助成
- ②環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供
- ③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り

(10代)

- ・環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供  
⇒他の世代に比べて、環境問題全般の関心度が低いのが、取組としては情報提供が求められており、SNS等を活用した情報発信の方法を検討する必要がある。

(20代・30代・40代)

- ・研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り  
⇒子育て世代が家族等で自然と触れ合うことのできる環境づくりを検討  
(イトヨの里、六呂師高原、和泉地区、道の駅荒島の郷ほか)

## 【考察】

- ・上位回答 = 第三期計画において、10年後の目標(守るべき大野の環境)

## 上位回答

- ①湧水地、名水(地下水)
- ②日本一の夜空
- ③歴史的風情の残る町割りや町並み

## ◆事業所アンケートの集計結果

### 問3 経済活動と環境保全の関係

P53

#### 【考察】

- ・「経済活動を継続していくためには、環境保全にも一定の配慮をする」が70%以上  
⇒環境保全に対する意識向上が見られることから、実際に行動に移すことを促す取り組みが求められる

### 問4 環境対策に取り組む理由

P54

#### 【考察】

- ・「企業の社会的責任であると考えから」が60%以上となり、意識の向上が見られる。
  - ・「取引先から環境対策を求められているから」「社会や消費者の環境意識が高いため、企業として取り組まざるを得ないから」「事業所や製品、商品などのイメージアップのため」が前回よりも回答率が高くなっており、社会全体の環境に対する意識向上と事業所に対する影響力の上昇が伺える。
- ⇒環境保全に対する意識向上が見られることから、実際に行動に移すことを促す取り組みが必要。

### 問5 企業活動による環境負荷

P55

#### 【考察】

- ・環境負荷が大きいと考えている問題に対し、適切な指導や情報提供が求められる

影響が大きいとの回答が多かった環境負荷

- ①騒音
- ②産業廃棄物
- ③事業系一般廃棄物
- ④水質汚濁

### 問6 行動指針に基づく取組状況

P56

#### 【考察】

- ・第二期計画に定める市民の行動指針の取組状況を確認した。  
⇒別紙「第二期計画における市民及び事業所行動指針の取組評価」のとおり

・節水や節電、紙の節約、廃棄物の減量化などコスト削減効果のある取組や産業廃棄物の適正管理など法令遵守事項は、80～90%取り組んでいる。

・取組状況が80%未満の取組で主なもの（取り組まない理由別）

**利便さ・快適さが損なわれる**

・地下水の消雪利用 ・公共交通機関等の利用 ・ノーマイカー運動の実践  
⇒取組効果の啓発や取り組みを促す仕組みの導入の実施

**費用がかかる**

・下水道への接続、合併浄化槽の設置 ・太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入  
・ハイブリッドカーなどの低公害車の導入  
⇒取組効果の啓発や国等が実施する助成制度の広報の実施

**取り組む機会がない・該当しない**

・大気汚染防止対策装置等の設置 ・水質汚濁防止装置等の設置  
・悪臭や振動、騒音防止装置等の設置 ・廃棄物の排出管理体制の確立  
・環境に配慮した商品販売や製品作り ・環境に配慮した原材料や製品の使用  
・商品梱包の簡素化 ・レジ袋の有料化やマイバッグ持参促進  
・光害対策の実施

※業種によっては取り組む必要のない場合が多いかと思われるが、環境負荷をかけているにもかかわらず小規模のため設置義務がなく取り組んでいない例もある。

⇒取組方法の広報や取組効果の啓発

**方法が分からない・情報や知識が足りない**

・環境マネジメントシステム等認証の取得 ・SDGsの推進  
⇒取組方法の広報や取組効果の啓発

問7 市に期待する施策

P66

**【考察】**

・上位回答の施策 = 事業所が求める第三期計画で取り組むべき具体的な施策

上位回答

- ①環境負荷を減らす設備導入に対する助成
- ②取組事例やガイドライン、関係法令等の情報提供

## ◆小学生・中学生アンケートの集計結果

### 問3 環境問題（全般）に対する学習意欲

P72

#### 【考察】

- ・ 学習意欲の高い環境問題 = 効果の高い環境教育
- ・ 小学6年生に比べ、中学3年生の学習意欲が低く、中学生に対する環境教育が課題

#### 学習意欲が高かった環境問題

- ①地球環境問題
- ②優れた自然環境の破壊、野生生物等の減少
- ③身近な自然や生き物の減少

#### 学習意欲（学んでみたいとの回答率）の平均

小学6年生平均 50.9% > 中学3年生平均 33.0%

### 問4 居住地区の環境に対する重要度

P74

#### 【考察】

- ・ 市民アンケートと比較して、「緑の豊かさ」「自然が身近にあること」を重要視する傾向にあり、子供たちから、これらを保全・活用する取組が求められている

#### 上位の環境要素

- ①空気のきれいさ
- ②地下水のきれいさ
- ③自然が身近にあること
- ④緑の豊かさ

### 問5 取り組んでいる環境にやさしい行動

P76

#### 【考察】

- ・ 小学生、中学生も取り組むことができる行動の取組状況を確認した。
- ・ マイバックの使用率が、特に中学3年生が低く、啓発が必要
- ・ 空き缶やペットボトル等の分別は90%弱が取り組んでいる一方で、お菓子の空箱やメモ用紙など「雑がみ」の分別は50%強にとどまっているため、普及啓発の取組が必要。

**【考察】**

- ・参加したいとの回答が多かった取組（環境要素、題材、取り組み方法等）を踏まえた環境教育の検討が求められる。

## 上位回答の環境活動

- ① 星空の観察
- ② ごみや空き缶拾いなどの地域をきれいにする活動
- ③ 野外キャンプなどの自然を体験するイベント

⇒地下水や地球環境問題に対する関心度（学習意欲）は高いが、「地下水に関する調査イベント」「地球環境問題を学ぶイベント」の参加意欲は低いため、これらをテーマにした環境イベントを実施する際は、内容を工夫する必要あり

**【考察】**

- ・子供たちが、お気に入りあるいは自慢できる自然や風景として選んだ場所等を活用した取り組みを行うことで、子供たちが大野市の環境を考える、あるいは、体験する上で効果が高いと思われる。

## お気に入りの自然や風景、場所

- ① 大野城
- ② イトヨの里
- ③ 御清水
- ④ 六呂師高原
- ⑤ ふれあい公園